

工業会活動

令和2年航空機生産額は前年比3,853億円の減額

経済産業省が2月16日に公表した生産動態統計（年計確報値）に基づき、令和2年の航空機生産額（暦年値）を集計した。その結果、総額は前年比3,853億円（20.7%）減の1兆4,716億円となった。平成25年から急増した生産額は、平成28年に反転下落した後に緩やかに増加し、令和元年に1兆8,569億円となったが、令和2年は大きく下落していることが確認された。

防需と民需の内訳は、防衛向けが前年比374億円減の5,018億円、民間向けが3,479億円減の9,698億円となっている。

品目別にみると、機体の生産額は、防衛向けが機体製造及び機体部品の減により昨年実績を429億円下回る3,190億円、民間向けが主力のボーイング777及び787の生産減等により昨年実績を2,114億円下回る4,400億円となったため、機体全体では前年より2,544億円（25.1%）減の7,590億円となった。エンジンの生産額は、防衛向けが80億円の増、民間向けが1,296億円の減となり、エンジン全体では前年より1,216億円（17.2%）減の5,836億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛向け及び民間向けともに減となり、前年より94億円（6.8%）減の1,291億円となった。

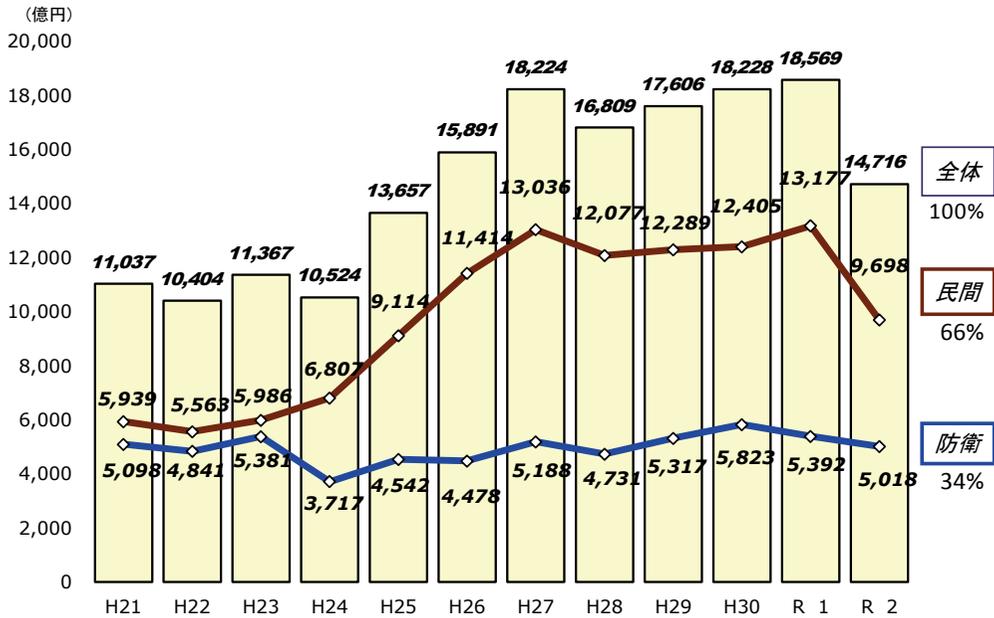
また、全体額の防需と民需の比率は34%対66%と民需が前年より減少となったが、平成19年以降連続して民需比率が50%を超える状況が続いている。近年、民間航空機でボーイ

ング社等からの受注増大に伴い民需比率が増大する傾向にあったが（民需比率のピークは平成28年の72%）、令和2年は新型コロナウイルスの影響により航空機需要が減少し、民需比率が減少する結果となった。

なお、令和2年の品目別防需比率は、機体関連42%、エンジン関連14%、その他機器80%となっている。

上記のように令和2年の我が国の航空機生産は、令和元年から大きく減少した。今後については、防衛向けではP-1固定翼哨戒機やC-2輸送機等の調達に伴う安定的な生産及び次期戦闘機の開発推進が期待される。民間向けではボーイング社の次期主力機777X初号機納入が2023年に延期されたことに加え、ボーイング社は、新型コロナウイルスの影響による航空機需要減が見込まれるとして、ボーイング777及び777Xの減産を公表し、また、ボーイング787についても同様の理由で減産を公表している。こうした状況を踏まえると、令和3年以降の航空機生産の動向はかなり厳しい状況が想定される。

航空機／国内生産額推移



令和元年と令和2年の区分別比較

(単位:億円)

区分	R元年 確定値(R2.6月)			R2年 確報年計値(R3.2月)			差 (R2年 - R元年)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	1,313	12	1,325	1,143	13	1,155	△171	1	△170
		部品	1,261	6,248	7,509	1,054	4,160	5,214	△206	△2,088	△2,295
		小計	2,574	6,260	8,834	2,197	4,172	6,369	△377	△2,088	△2,464
	エンジン	本体	198	3	201	218	6	225	21	3	24
		部品	413	5,998	6,412	463	4,724	5,187	50	△1,275	△1,225
		小計	611	6,002	6,613	681	4,730	5,411	71	△1,272	△1,201
	その他機器	880	299	1,179	892	233	1,125	12	△66	△54	
合計	4,064	12,561	16,625	3,770	9,136	12,906	△294	△3,425	△3,720		
修理	機体	本体	652	156	808	645	142	788	△7	△14	△20
		部品	393	98	491	348	85	433	△46	△13	△58
		小計	1,045	254	1,299	993	228	1,221	△52	△26	△79
	エンジン	本体	81	257	339	86	282	368	5	25	30
		部品	26	74	100	31	25	56	5	△49	△44
		小計	107	331	439	117	307	424	10	△24	△14
	その他機器	176	31	206	139	27	166	△37	△4	△41	
合計	1,328	616	1,944	1,248	562	1,810	△80	△54	△134		
全体	機体	本体	1,965	168	2,133	1,788	155	1,943	△177	△13	△190
		部品	1,654	6,346	8,000	1,402	4,245	5,647	△252	△2,101	△2,353
		小計	3,619 (36%)	6,514 (64%)	10,133 (100%)	3,190 (42%)	4,400 (58%)	7,590 (100%)	△429	△2,114	△2,544
	エンジン	本体	279	261	540	304	289	593	26	28	53
		部品	439	6,072	6,512	494	4,749	5,242	55	△1,324	△1,269
		小計	718 (10%)	6,333 (90%)	7,051 (100%)	798 (14%)	5,037 (86%)	5,836 (100%)	80	△1,296	△1,216
	その他機器	1,055 (76%)	330 (24%)	1,385 (100%)	1,030 (80%)	261 (20%)	1,291 (100%)	△25	△69	△94	
	合計	5,392 (29%)	13,177 (71%)	18,569 (100%)	5,018 (34%)	9,698 (66%)	14,716 (100%)	△374	△3,479	△3,853	

(注) 四捨五入の関係から、合計、小計は必ずしも一致しない

(出典:経済産業省 生産動態統計)

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕